



新编

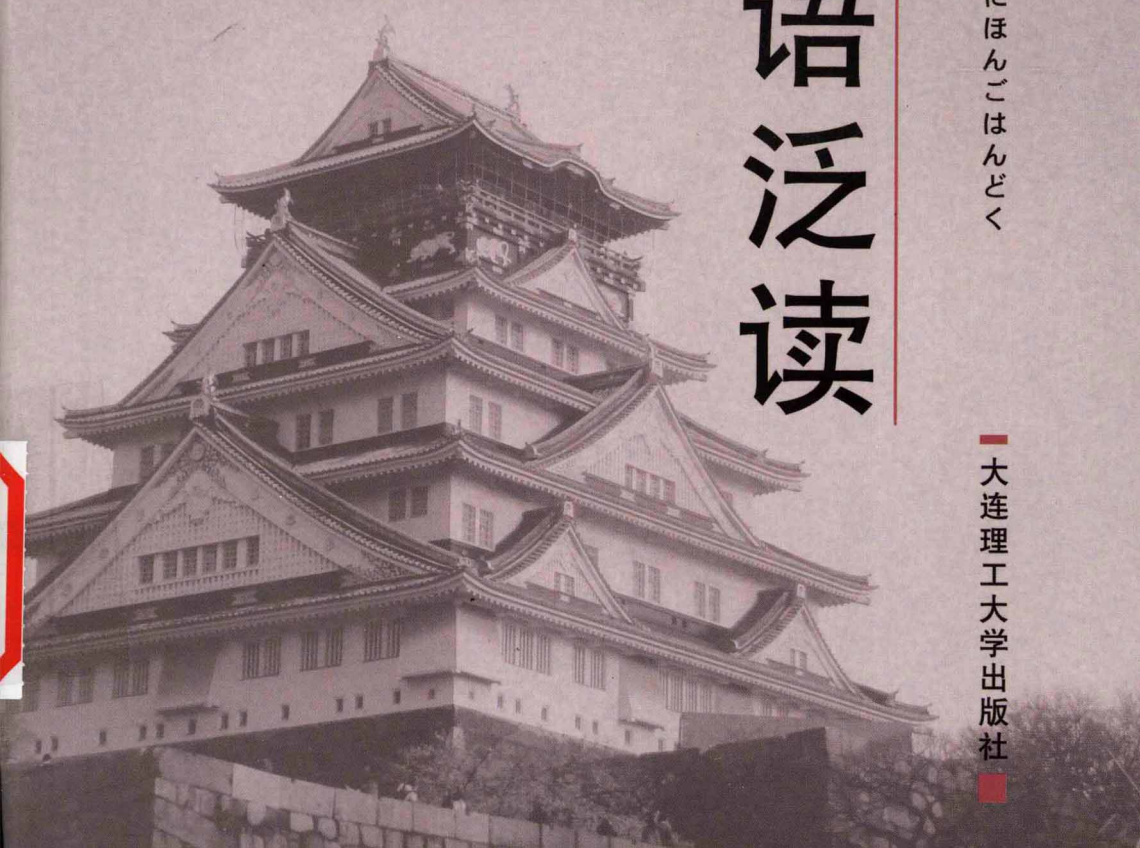
だいがくにほんごはんどく

大学日本語泛读

刘利国◎编著

高等学校日语教材

大连理工大学出版社



高等学校日语教材

新编

だいがくにほんごほんどく



大连理工大学出版社

大学日本语泛读

刘稚国 编著

图书在版编目(CIP)数据

新编大学日本语泛读 / 刘利国编著. — 大连 : 大连理工大学出版社, 2012. 9

ISBN 978-7-5611-7189-9

I. ①新… II. ①刘… III. ①日语—阅读教学—高等学校—教材 IV. ①H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2012)第 183266 号

大连理工大学出版社出版

地址:大连市软件园路 80 号 邮政编码:116023

发行:0411-84708842 传真:0411-84701466 邮购:0411-84703636

E-mail:dutp@dutp.cn URL:<http://www.dutp.cn>

大连金华光彩色印刷有限公司印刷, 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸:165mm×235mm	印张:18.25	字数:345千字
附件:光盘1张		印数:1~6000
2012年9月第1版		2012年9月第1次印刷

责任编辑:宋锦绣 张凡 责任校对:王磊 杨波
封面设计:山野物语

ISBN 978-7-5611-7189-9

定 价:36.00 元

前言

《大学日本語泛读》出版于1994年，经过五年的教学实践检验，1999年又推出了修订版。再经历了十余年的教学实践与反思，编者又在1999修订版的基础上进行了全面的修订，既保留了原书的精华篇章，又新增了部分内容，并以《新编大学日本語泛读》的名称献给读者。

本书适用于大学日语专业二年级以及具有同等语言程度的大专自考、夜大、电大学员和自学者使用。全书由24课组成，分为六个单元，每四课为一个单元，大约需120个学时学完。当然，授课教师也可根据各类学校的教学实际，在授课时进行适当的删减。

本着知识性与趣味性相结合的这一泛读课的教学特点，在新编过程中，广泛征求了学习者与授课教师的意见，删除了部分较易和较难的文章，同时根据教学要求，增添了详尽的词语注释、短语解释、参考译文等。尤其是针对我国日语学习者‘汉字先行’的特点，统一标注了每课词语的当用汉字，并对每课出现的重要当用汉字标注了读音。此外，为了排版等需要，还对部分课文的原文做了必要的技术性处理。

由于编者学识所限，在编写过程中难免会出现诸多疏漏，恳请有关专家学者和学习者给予批评指正。在本书的编写过程中，承蒙大连外国语学院日语学院的吕东升、孙妍两位老师和部分研究生的热情帮助，同时还得到本书责任编辑张凡的鼎力支持，在此一并致谢！

编者

2012年仲夏吉日 于大连

目 录

一 人間と自然を考える

- 第1課 動物の変装……………丹野節子 002/213
第2日 開けていく海……………加古里子 007/214
第3課 人類文化の曙……………作者未詳 012/215
第4課 自然を守る……………伊藤和明 020/218

二 メルヘンの国に立ち入る

- 第5課 野ばら……………小川未明 030/221
第6課 手袋を買いに……………新美南吉 039/223
第7課 天下一の馬……………豊島与志雄 047/226
第8課 片耳の大鹿……………椋鳩十 059/231

三 日本の社会を知る

- 第9課 社会と言葉……………樺島忠夫 072/237
第10課 接遇マナーの実際……………作者未詳 077/239
第11課 沈黙の世界……………外山滋比古 086/244
第12課 現代文明と人間疎外……………高島善哉 095/247

四 日本の文化を学ぶ

第13課	季節風と日本人	岡田章雄	104/249
第14課	墓から見た古代の日本	岩村忍	111/251
第15課	新聞とその読み方	荒垣秀雄	119/253
第16課	活字中毒者の一日	山口瞳	130/256

五 日本人の心を読む

第17課	「知る」ということ	加藤周一	142/261
第18課	青春について	中村光夫	149/264
第19課	人間を知るために	千葉康則	157/266
第20課	故郷志向的行動	荒木博之	162/268

六 美の世界に親しむ

第21課	四季	荒垣秀雄	182/276
第22課	風景との出会い	東山魁夷	195/279
第23課	楡の町	百田宗治	200/281
第24課	現代詩の鑑賞	高村光太郎、谷川俊太郎	206/284



人間と自然を考える

第1課 どうぶつ へんそう 動物の変装

たんのせつこ
丹野節子

草むらから飛び立った飛蝗を掴まえようと、飛蝗の下りた所に行ってみても、もう見つからない——こんな経験は、よくあります。これは、飛蝗の色が、草の色に似ているからです。動物は、このように身を守るための自然の仕組み^[1]を持っています。

油菜や大根の葉にいる青虫は、紋白蝶の幼虫です。青虫も、飛蝗と同じように、葉の色に似た緑色をしています。紋白蝶は、たくさんの葉に卵を産みつけますが、その卵が、みんな無事に蝶になるというわけにはいきません^[2]。青虫は、雀や、椋鳥などのような小鳥に食べられることもありますし、蜂の仲間などに襲われることもあります。青虫が葉の色によく似ていることは、このような恐ろしい敵から身を守るのに役立ちます。

鳥や獣にも、同じような例があります。雪の多い地方に住む、雷鳥や、越後兎^[3]は、冬、当たりが雪に埋まっている^[4]ころは、羽や毛が真っ白です。ところが、春になって雪が融けると、雷鳥は、地面の色に似た茶色で斑の羽になり、越後兎は、茶色の毛に変わります。こうして、自分を狙う敵の目を逃れるのです^[5]。

動物の中には、単に色だけでなく、形まで周りのものに似ていて、敵に見つからないようになっているものがあります。尺取り虫が枯枝に似ていたり、木の葉蝶が木の葉にそっくり^[6]だったりするのは、その例です。

ハワイ^[7]には、おもしろい形の蟻螂^{かまきり}がいます。後足や中足に、木の葉のようなものを付けているので、ちょっと見ると^[8]、木の枝に葉が付いているようにしか見えません。また、マライ半島^[9]やインドにいる蟻螂の中には、きれいなばらや、蘭の花そっくりの色や形をした種類のものがあります。これらの蟻螂は、近寄ってくる虫を食べて生きています。これなどは、敵から身を守るためだけでなく、獲物を取るためにも役立っている例です。

魚の中にも、色や形が周りにあるものによく似たのがいます。上の絵（図略）は、ようじうおという魚が、海の底に茂った、あまもという海草の間を泳いでいるところです。平たくて細長い体つきが、海草そっくりではありませんか。これなら、敵に見つかりにくいでしょう^[10]。

龍の落とし子^[11]も、色や形が海草に似ていますが、この魚は、動作に特徴があります。敵が来ると、海草に尾で巻き付き、姿を晦ますのです^[12]。また、へらやがらという細長い魚は、敵が来ると、急いで、自分に似た形^[13]の海綿のそばに行き、逆さになって^[14]じっとしています。すると、海綿と区別が付かず^[15]、敵は、獲物を見失ってしまう^[16]というわけです。

動物は、人間と違って、物事を考えてこうしようと決めるわけではありません。このような「動物の変装」は、それぞれの動物の生命を守り、種族を滅ぼさない^[17]ようにするための、自然の仕組みなのです。

作者紹介

丹野 節子（たんの せつこ、1903～）岐阜県多治見市生まれ。1930年、津田女子英学塾本科卒業。児童文学者、児童文学者協会会員。

戦後婦人民主新聞社に入社。1950年退社し文筆生活に入る。『探険家物語』『お話博物館』『シュバイツァー』など一連の児童向け著書の他に、ディケンズの『デヴィッド・カパーフィールド』『ヘレン・ケラー自伝』『子供と共に生きる道』などの訳書がある。

単語

へんそう（変装）	[名・ス自]	变相，伪装
くさむら（草むら）	[名]	草丛
とびたつ（飛び立つ）	[五自]	飞起，飞出
ばった（飛蝗・蝗）	[名]	蝗虫，蚂蚱
つかまえる（掴まえる）	[下一他]	抓住，捉住
しくみ（仕組み）	[名]	结构，构造
あぶらな（油菜）	[名]	油菜

だいこん(大根)	[名]	萝卜
あおむし(青虫)	[名]	棉铃虫
もんしろちょう(紋白蝶)	[名]	白蝴蝶, 菜粉蝶
ようちゅう(幼虫)	[名]	幼虫
たまご(卵)	[名]	卵
すずめ(雀)	[名]	麻雀, 家雀
むくどり(棕鳥)	[名]	灰棕鳥
らいちょう(雷鳥)	[名]	雷鳥
えちごうさぎ(越後兎)	[名]	越后兔
はね(羽)	[名]	羽毛, 翅膀
け(毛)	[名]	毛
とける(溶ける・融ける)	[下一自]	(雪、霜等)化, 溶化
ちゃいろ(茶色)	[名]	茶色
まだら(斑)	[名]	斑杂, 花斑
ねらう(狙う)	[五他]	瞄准, 窥伺
のがれる(逃れる)	[下一自]	摆脱, 逃避
しゃくとりむし(尺取り虫)	[名]	尺蠖
かれえだ(枯枝)	[名]	枯枝, 干枝
このはちょう(木の葉蝶)	[名]	枯叶蝶, 木叶蝶
ハワイ(Hawaii)	[名]	(地)夏威夷
かまきり(螳螂)	[名]	螳螂
マライはんとう(Malay 半島)	[名]	(地)马来半岛
らん(蘭)	[名]	(植)兰花
えもの(獲物)	[名]	猎获物
ようじゅうお	[名]	(动)面条鱼
しげる(茂る)	[五自]	繁茂, 茂密
あまも(甘藻)	[名]	甘藻(海草的一种)
ひらたい(平たい)	[形]	平坦的, 扁的
たつのおとしご(龍の落とし子)	[名]	(动)海马
お(尾)	[名]	尾巴
まきつく(巻き付く)	[五自]	缠上, 盘绕
くらます(晦ます・暗ます)	[五他]	隐藏, 隐蔽

へらやがら	[名]	(动) 扁平箭杆鱼
かいめん(海绵)	[名]	(海绵动物的略语) 海绵动物
さかさ(逆さ)	[名・ダナ]	倒, 颠倒
しゅぞく(种族)	[名]	种族
ほろぼす(滅ぼす)	[五他]	使灭亡

言 葉 の 解 釈

- [1] 自然の仕組み / 自然の組み立て。自然に持つ機能, 本能
- [2] ~というわけにはいきません / ~することが不可能です
- [3] 越後兎 / 本州の日本海沿岸と東北地方に分布する野ウサギの亜種です
- [4] 雪に埋まっている / 雪に覆われている
- [5] 自分を狙う敵の目を逃れるのです / 自分を捕えようと目標にしている敵の目から脱するのです
- [6] そっくり / 非常によく似ているようす
- [7] ハワイ / 太平洋のおよそ中央部にあるアメリカの州の一つで、八個の大島と多くの小島とからなります
- [8] ちょっと見ると / ちらりと見ると (まじめに見ていないようす)
- [9] マライ半島 / インドシナ半島から南方に突出した半島
- [10] 敵に見つかりにくいでしょう / 敵に発見されることが難しいでしょう
- [11] 竜の落とし子 / 海にすみ、直立して泳ぐ小さな魚
- [12] 姿を晦ますのです / 姿を隠すのです
- [13] 海绵 / 海绵動物の略。岩、海草などに付着したりして生きる下等動物
- [14] 逆さになる / 頭を下に、尾を上にする
- [15] 区別が付かず / 区別することができない
- [16] 見失ってしまう / 今まで見ていたものが見えなくなってしまう
- [17] 滅ぼさない / 滅亡させない



手引き

1. 動物は身を守るための仕組みを持っています。その仕組みはだいたい三つに分けられますが、どんな仕組みですか、まとめてみましょう。
2. 青虫の敵は雀のほか、また何がありますか。
3. 本文に出てくる動物の種類をまとめてみましょう。
4. 始めの段落と終りの段落の内容が、読む人にどんな気持ちを持たせますか。また、作者のどんな考えがわかりますか、考えて話し合みましょう。
5. あなたの知っている、変装のできる動物の話をみんなに聞かせましょう。

第2課 開けていく海

か こきとし
加古里子

あなたは、海を見たことがありますか。

—青く広がった海。

—^{はる}遙かな^{すいへいせん}遠い水平線。

—^よ寄せてくる波、^{くだ}砕け^ち散る波。

海岸に立って海を見ていると、希望が^わ湧き、心が^{あら}洗われるような気がします。わたしたちの住んでいる日本は、この海に^{かこ}囲まれた国です。

いったい、地球上で、海と陸とは、どちらが広いのでしょうか。それは海です。海は、地球の表面の十分の七を^し占めているのですから、海のほうが、陸地よりも遙かに広いのです。

広いだけではありません。陸地^{いちばん}で一番高い所は、エベレストという山の^{いた}頂の、八千八百メートルあまりですが、太平洋の中にある、海^{いちばん}で一番深い所は、一万一千メートルを超えるのです。

また、もし陸地^{けず}を削って海を埋めたとしたら、地球全体は、深さ二千四百メートルの海になってしまうことが、計算されています。

この広くて深くて大きな海を、人間は、昔から、いろいろなことに使ってきました。

まず第一に、海には、^う魚や^{かい}貝がいます。海草^{かいそう}があります。人間は、それらを取って食べ物に^きしてきました。

第二に、海に重い物を^う浮かべて運んだり、船でほかの土地と行き来をしたりしました。ほかの国の人と品物^{しなもの}を^う売り^か買いするのにも、船に乗せて、海の上を運びました。

第三に、海水には、^{かいすい}いろいろの物が^と溶け^こ込んでいます。たとえば塩です。陸地全体を百五十メートルの^{あつ}厚さ^{おお}で覆ってしまうほどたくさんの塩が、海

水に溶けています。人間は、それを取り出して使ってきました。そのほか、
金・銀・銅・鉛・アルミニウムなども含まれています。

海の底には、石油や石炭なども埋まっています。ダイヤモンドや鉄など
があることもわかってきました。ですから、これらを掘り取って使うこと
が試みられています。

また、海の水から真水を取ったり、潮の流れや波の動きで電気を起こし
たりする研究も進み、次々に、人間の生活に役立てられるようになりました。

けれども、海の中へ太陽の光が届くのは、わずか二百メートルぐらいの
深さまでです。そこから先は、まっ暗な、闇の世界です。そのうえ、深く
なればなるほど、海水の圧力が大きくなります。ですから、深い海の中を
調べたり、そこで仕事をしたりするのは、地上に比べて、大変難しく、不
便です。

その難しさや不便を乗り越えて、人間は、海を探ろうとしています。深い
海を調べることのできる、特別の潜水艇も作られました。海の底に穴を
空けたり土や岩を掘り取ったりする機械も考え出されました。

こうした進んだ科学の力によって、海の様子は、次第によくわかってき
ました。今まで知られていなかった深い海の珍しい生物も、次々に発見さ
れています。

けれども、この大きな広い深い海について、人間が知っていることは、
まだまだほんの少しです。海を研究して人間の生活に役立てることは、こ
れからもますます進んでいくでしょう。

ただ、忘れてならない大きな問題は、海と人間は、共に生きていかなけ
ればならないということです。人間の不注意や自分勝手から、海を汚し、
海を壊してはなりません。

青く広がる美しい海——それは、人間の希望の印なのです。

作者紹介

加古 里子 (かこ さとし、1926～) 福井県越前市生まれ。絵本作家、児童文学者。
工学博士、技術士 (化学)。本名は、中島 哲 (なかじま さとし)。ペンネームの
「里子」は俳号。かこさとし名義でも活動している。

成蹊高等学校（旧制）から、東京大学工学部応用化学科に学ぶ。卒業後、昭和電工に入社。研究所勤務を続けるかたわら、川崎市などでセツルメント活動や、児童向け人形劇、紙芝居などの活動を行う。1973年、47歳で昭和電工を退社した後はフリーで多作な活動を続けている。2008年、「絵本作家、児童文学者としてのユニークな活動と、子供の遊びについての資料集成『伝承遊び考』全四巻の完成により菊池寛賞を受賞。

絵本以外の著書としては、絵本制作の方法論などを解説した『加古里子絵本への道』（1999年）や、子供の遊びについての資料集成『絵かき遊び考』（2006年）、『石けり遊び考』（2007年）、『鬼遊び考』（2008年）、『じゃんけん遊び考』（2008年）などがある。

単語

ひらける（開ける）	[下一自]	宽阔，宽敞
はるか（遥か）	[副・ダナ]	遥远
すいへいせん（水平線）	[名]	水平线
よせる（寄せる）	[下一自]	接近，逼近
くだけちる（砕け散る）	[五自]	（浪花）四溅，破碎
わく（涌く）	[五自]	涌起，升起
ひょうめん（表面）	[名]	表面
しめる（占める）	[下一他]	占据，占有
エベレスト	[名]	（地）珠穆朗玛峰的别称（由英国人命名的）
いただき（頂）	[名]	顶峰，山顶
たいへいよう（太平洋）	[名]	太平洋
こえる（超える）	[下一自]	超过
けずる（削る）	[五他]	削平，铲平
うめる（埋める）	[下一他]	埋，填
かい（貝）	[名]	贝
うかべる（浮べる）	[下一他]	使……漂起，使……浮起
ゆきき（行き来）	[名]	往来，交往
しなもの（品物）	[名]	物品

うりかい(売り買い)	[ス他]	买卖
とけこむ(溶け込む)	[五自]	溶解, 融化
しお(塩)	[名]	盐, 食盐
おおう(覆う)	[五他]	覆盖, 蒙上
きん(金)	[名]	金, 金子
ぎん(銀)	[名]	银, 银子
どう(銅)	[名]	铜
なまり(鉛)	[名]	铅
アルミニウム(aluminum)	[名]	铝
せきゆ(石油)	[名]	石油
せきたん(石炭)	[名]	煤
うずまる(埋まる)	[五自]	埋, 埋没, 被埋上
ダイヤモンド(diamond)	[名]	钻石, 金刚石
てつ(鉄)	[名]	铁
ほりとる(掘り取る)	[五他]	挖掘, 采挖
こころみる(試みる)	[上一他]	尝试, 试试看
まみず(真水)	[名]	淡水, 净水
しお(潮)	[名]	潮汐
とどく(届く)	[五自]	达, 及
わずか	[副・ダナ]	仅仅
さき(先)	[名]	前边, 下边
やみ(闇)	[名]	黑暗, 暗夜
あつりょく(圧力)	[名]	压力
のりこえる(乗り越える)	[下一自]	克服, 通过, 越过
さぐる(探る)	[五他]	寻找, 探索
せんすいてい(潜水艇)	[名]	潜水艇
ようす(様子)	[名]	情况, 情形
しだいに(次第に)	[副]	逐渐地, 渐渐地
せいぶつ(生物)	[名]	生物
ほんの	[連体]	仅仅, 少许
ふちゅうい(不注意)	[名・ダナ]	不注意, 不小心
じぶんかって(自己勝手)	[名・ダナ]	任性, 随自己的便
よごす(汚す)	[五他]	弄脏, 玷污

手引き

1. 海と陸の広さや高さ、深さの違いを、数字で説明しましょう。
2. 人間にとって、海がどんな役に立つのですか。
3. 深い海の中を調べたりするのが大変難しく、不便なのに、人間はなぜ、それをしなければならないのでしょうか。
4. 海はなぜ、「人間の希望の印」なのでしょうか。
5. あなたが始めて海を見たときの気持ちを思い浮かべながら、みんなに聞かせてみましょう。